

入 札 説 明 書

整形外科手術用システム9 パワーツール 一式 購入

令和7年6月

常 陸 大 宮 済 生 会 病 院

入札説明書

この入札説明書は、入札の執行、及び契約の締結について入札参加者及び契約締結者が留意すべき事項を定めたものであり、入札希望者は次の事項を熟知のうえ入札書を提出すること。

1. 競争入札に付する事項

別記の１のとおりである。

2. 競争参加者に必要な資格及び条件

(1) 資格

- ① 茨城県の物品調達等競争入札参加資格を有する者で、有資格者名簿（物品・役務）の大分類０７（精密機器類）小分類０３（医療機器）または大分類１９（リース・レンタル）小分類０２（各種機器）に登載されていること。さらに、薬機法（昭和３５年法律第１４５号）の規程に基づく高度管理医療機器等販売及び賃貸業の許可を受けているもの。
- ② 茨城県から入札執行に関する指名停止処分を受けている期間中でないこと。
- ③ 予算決算及び会計令（昭和２２年勅令第１６５号）第７０条の規定に該当しない者であること。
- ④ 会社更生法（平成１４年法律第１５４号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成１１年法律第２２５号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者でないこと。
- ⑤ 営業不振の状況にないこと。
- ⑥ 茨城県暴力団排除条例（平成２２年茨城県条例第３６号）第２条第１号又は同条第３号に規定する者でないこと。
- ⑦ 茨城県内に本支店または営業所を有すること。

(2) 条件

- ① 入札説明書の記載事項を満たしていること。
- ② 業務従事者を配置するにあたり労働基準法を遵守すること。
- ③ 社会福祉法人恩賜財団済生会支部茨城県済生会常陸大宮済生会病院院長（以下「院長」という。）は、次の各号のいずれかに該当すると認められる者を、その事実があった後二年間競争入札に参加させないことができる。これを代理人、復代理人、支配人その他の使用人として使用する者についても同様とする。
 - 一 契約の履行に当たり故意に工事若しくは製造を粗雑にし、又は物件の品質若しくは数量に関しての不正の行為をした者。
 - 二 公正な競争の執行を妨げた者又は公正な価格を害し、若しくは不正の利益を得るために連合をした者。
 - 三 契約予定者が契約を結ぶこと又は契約者が契約を履行することを妨げた者。
 - 四 監督又は検査の実施に当たり職員及び院長が委託した者の職務の執行を妨げた者。
 - 五 正当な理由がなくて契約を履行しなかった者。
 - 六 前各号の一に該当する事実があった後二年を経過しない者を契約の履行に当たり、代理人、復代理人、支配人その他の使用人として使用した者。
 - 七 前各号に類する行為を行った者。
- ④ 院長は、前項の規定に該当する者を入札代理人若しくは復代理人として使用する者を競争入札に参加させないことができる。

3. 入札及び開札

- (1) 競争参加者は、仕様書、入札説明書（本紙）、入札心得、添付書類等を熟覧のうえ、入札しな

なければならない。この場合において、当該仕様書等に疑義がある場合は、関係職員に説明を求めることができる。但し、入札後仕様書等についての不知又は不明を理由として異議を申し立てることはできない。

- (2) 競争参加者は、別紙の様式HOS 3による入札書を持参により提出しなければならない。加入電信、電報、電話その他の方法による入札は認めない。
- (3) 入札書及び入札にかかる文書に使用する言語は、日本語に限るものとし、また、入札金額は日本国通貨による表示に限るものとする。
- (4) 入札の日時及び場所は、別記の2のとおり。
- (5) 代理人若しくは復代理人が入札する場合は、入札時まで別紙の様式HOS 2による委任状を提出すること。
- (6) 代理人若しくは復代理人が入札する場合は、入札書に競争参加者の所在地、氏名、商号又は名称、代理人若しくは復代理人であることの表示並びに当該代理人若しくは復代理人の氏名を記名して押印（外国人の署名を含む、以下同じ）をしておかなければならない。
- (7) 入札書を持参により提出する場合は、封筒に入れ密封し、かつその封皮に氏名（法人の場合はその商号又は名称）を記入し、「【開札日：（別記の2）を記入】 開札 【件名：（別記の1-（1））を記入】 入札書在中」と朱書きしなければならない。なお、封筒裏側の継ぎ目三カ所に入札書作成者の押印をしておかなければならない。
- (8) 契約金額決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額をもって契約価格とするので、入札者は、消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。
- (9) 競争参加者又はその代理人若しくは復代理人が入札書の記載事項の訂正をする場合は、当該訂正部分について押印をしておかなければならない。但し、金額の訂正は認めない。
- (10) 競争参加者は提出した入札書の引換え、変更又は取り消しをすることができない。
- (11) 院長は、競争参加者が連合し、又は不穩の挙動をする等の場合で競争入札を公平に執行することができない状態にあると認めたときは、当該入札を延期し又はこれを中止することができる。
- (12) 競争参加者の入札金額は調達役務のほか、人件費、交通費、保険料、関税等契約履行に要する一切の諸経費を含め入札金額を見積もるものとする。
- (13) 競争参加者が入札書を提出するときは、入札公告において求められた義務を履行するために必要とする関係書類を併せて提出しなければならない。また、院長等から本入札案件にかかる技術仕様、解説資料等について説明を求められた場合には、競争参加者の義務として十分説明しなければならない。
- (14) 競争参加資格確認書及び競争参加資格確認資料を提出した者が競争に参加する者に必要な資格を有すると予め認められることを条件に入札書を提出した場合、当該者にかかる資格審査が開札日時までに終了しないとき、又は資格を有すると認められなかったときは、当該入札書を無効とする。
- (15) 開札の日時及び場所は、別記の2のとおりである。
- (16) 開札は原則として競争参加者又はその代理人若しくは復代理人が出席して行うものとする。従って競争参加者又はその代理人若しくは復代理人が立ち会わないときは入札執行事務に関係のない職員を立ち会わせてこれを行うので、開札日の前日までにその旨を連絡すること。
- (17) 入札会場には、競争参加者又はその代理人若しくは復代理人並びに入札執行事務に関係のある職員（以下「入札関係職員」という。）及び上記（16）の立ち会い職員以外の者を入場させることができない。
- (18) 競争参加者又はその代理人若しくは復代理人は、開札時刻以後に入札会場に入場することができない。
- (19) 競争参加者又はその代理人若しくは復代理人が、入札会場に入場しようとするときは、入札

- 関係職員に身分証明書又は入札権限に関する委任状を提示し、又は提出しなければならない。
- (20) 競争参加者又はその代理人若しくは復代理人は、院長が特にやむを得ない事情があると認め
た場合のほか、入札会場を退場することはできない。
 - (21) 入札会場において、次の各号の一に該当する者は、院長において退去させることができる。
 - ① 公正な競争の執行を妨げ、又は妨げようとした者。
 - ② 公正な価格を害し、又は不正の利益を得るための談合をした者。
 - (22) 競争参加者又はその代理人若しくは復代理人は、本件入札について、他の代理人若しくは復
代理人になることができない。

4. 入札の無効

次の各項の一に該当する入札は無効とする。

- (1) 競争参加するために必要な資格を有しない者のした入札。
- (2) 指名競争による入札において指名通知を受けていない者のした入札。
- (3) 委任状を持参しない代理人又は復代理人のした入札。
- (4) 入札金額、競争参加者本人の所在地、氏名、押印（法人の場合はその商号又は名称並びに代
表者の氏名、押印）又はその代理人若しくは復代理人が入札する場合の競争参加者の所在地、
氏名、商号又は名称並びに当該代理人若しくは復代理人の氏名及び押印の欠く入札。（外国
人又は外国法人にあっては、本人又は代表者の署名をもって代えることができる。）。
- (5) 入札金額を訂正した入札。
- (6) 誤字、脱字等により意思表示が不明確である入札。
- (7) 明らかに連合によると認められる入札。
- (8) 同一事項の入札について他人の代理人若しくは復代理人を兼ね、又は二者以上の代理人若し
くは復代理人をした者の入札。
- (9) 仕様書等を添付することとされた入札にあっては、当該仕様書等が院長の審査の結果、採用
されなかった入札。
- (10) 特定商品と同等のものであることを証明する必要がある入札にあっては、同等のものである
ことを証明できなかった入札。
- (11) 入札書の受領期限までに到達しない入札。
- (12) 入札の日付が不正なもの。（入札書受領期限後の日付等）
- (13) 入札の公告又は公示の閲覧をしない者のした入札。
- (14) その他入札に関する条件に違反した入札。

5. 落札者の決定

- (1) 有効な入札を行った者のうち、社会福祉法人恩賜財団済生会契約手続要領及び常陸大宮済生
会病院契約手続内規に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって
入札した者を落札者とする。但し、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者によ
り当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者
と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当
であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち
最低の価格をもって入札した者を落札者とすることがある。
- (2) 落札者となるべき同一価格の入札者が二人以上あるときは、直ちに当該入札者にくじを引か
せ落札者を決定するものとする。
- (3) 上記（2）の場合で入札者又はその代理人若しくは復代理人など直接入札者がくじを引くこ
とができないときは、入札執行事務に関係のない職員がこれに代わってくじを引き落札者
を決定するものとする。
- (4) 開札の結果、予定価格の範囲内での入札が無いときは、引き続きその場で再度入札を行う。
但し、委任を受けていない者、その場に居合わせない者は再度入札を行うことはできない。

- (5) 落札者が決定したときは、その者を契約の相手方とする。但し、落札者が8.(2)に規定する期間内に契約書の案を提出しないときは、落札はその効力を失い、また、落札者は損害賠償金の請求を受けるほか、指名の制限等の措置がとられることがある。

6. 再度入札

- (1) 開札の結果、予定価格の制限の範囲内に達した入札がないときは、直ちに再度の入札を行う。
- (2) 再度入札の執行回数は二回を限度とする。なお再度入札の場合において、各人の入札のうち予定価格の制限の範囲内に達した価格の入札がないときは、随意契約によることがある。
- (3) 予定価格事前公表対象案件の再度入札は行わないものとする。

7. 見積もり合わせ

- (1) 再度入札を二回行った結果、それでも予定価格の制限の範囲内に達した価格の入札がないときは、最低価格を入札した者と見積もり合わせを行うものとする。
- (2) 見積もり合わせの執行回数は三回を限度とする。なお見積もり合わせを三回執行しても価格が予定価格の制限の範囲内に達しないとき、当該入札は不調とする。
- (3) 見積もり合わせの結果、予定価格の制限の範囲内に達した場合は、その見積書を提出した者と随意契約を締結するものとする。

8. 契約書の作成

- (1) 物品売買契約書（「覚書」「注文書」を含む）を締結する。
- (2) 落札者は、協議して決定した契約書の案に記名押印（外国人又は外国法人にあっては本人又は代表者の署名をもって代えることができる。）の上、七日以内に院長に提出しなければならない。但し、院長がやむを得ない事情があると認めるときは、この期間を延長することができる。
- (3) 契約決定者が遠隔地にあるときは、契約書二部に記名押印後、院長宛てに送付し、これに記名押印を受けるものとする。
- (4) 上記の場合において院長は記名押印した当該契約書一通を契約の相手方に送付するものとする。
- (5) 契約書及び契約にかかる文書に使用する言語並びに通貨は、日本語及び日本国通貨に限るものとする。
- (6) 本契約は院長と契約の相手方双方が契約書に記名押印しなければ成立しないものとする。
- (7) 落札者が前項に規定する期間内に契約書の案を提出しないときは、落札はその効力を失う。

9. 契約条項

常陸大宮済生会病院様式の物品売買契約書とする。ただし、落札者による様式の提示があれば、双方協議の上、決定するものとする。

10. その他必要な事項

- (1) 入札を行っても入札者がいないとき、又は再度の入札を行っても落札者がいないとき、若しくは落札者が契約を結ばない場合、院長は次の各号に掲げるいずれかの措置をとることができる。
 - ①再度公告により改めて入札を行う。
 - ②最低価格を入札した者と見積もり合わせを行い、予定価格の制限の範囲内に達した場合、その者を随意契約の相手方とする。
- (2) 競争参加者が本件入札に要した費用については、全て当該競争参加者又は当該契約の相手方が負担するものとする。

別 記

1. 競争入札に付する事項

- (1) 件名
整形外科手術用システム9 パワーツール 一式 購入
- (2) 物品の仕様
入札説明書及び仕様書による
- (3) 納入場所
茨城県常陸大宮市田子内町3033番3
社会福祉法人^{恩賜}財団済生会 支部茨城県済生会
常陸大宮済生会病院内
- (4) 納入期限
令和7年7月31日
- (5) 入札保証金及び契約保証金
入札保証金及び契約保証金は免除する。

2. 入札及び開札

入札及び開札の日時及び場所
令和7年7月10日(木) 11時00分
社会福祉法人^{恩賜}財団済生会支部 茨城県済生会
常陸大宮済生会病院 2階 健診センター

3. 院長の氏名

社会福祉法人^{恩賜}財団済生会支部 茨城県済生会
常陸大宮済生会病院
院長 小島 正幸

4. 本件入札に関する照会先

社会福祉法人^{恩賜}財団済生会 支部茨城県済生会
常陸大宮済生会病院 事務部管理課 川又
〒319-2256
茨城県常陸大宮市田子内町3033番3
TEL 0295-52-5151 (代表)
FAX 0295-52-5725

5. 競争参加資格確認資料の提出について

提出期限：令和7年7月8日(火) 17時まで

次に示す書類を提出願います。

- ①競争参加資格確認申請書 (1部)
- ②高度管理医療機器等販売及び賃貸業許可証の写し (1部)

※上記提出書類は、返却致しません。

※期限までに間に合わない場合は、事前にご相談ください。

※入札辞退書は、入札執行の終了に至るまでいつでも提出できます。

以上